



令和8年（2026年）6月23日	
所 属	文化振興課
所属長	荏田 昭憲
電 話	06-6489-6385

A-LAB Exhibition Vol.52 武雄文子と筒井夏鈴による二人展「CONNECT」を開催

1 趣旨

尼崎市が運営するアートスペース「A-LAB」（えーらぼ）において、自然の風景や環境をモチーフに、見えない力やその存在に目を向けて作品を制作しているアーティスト、武雄文子と筒井夏鈴による二人展「CONNECT」を開催します。

私たちは自然の中に身を置くと、光、風、温度、湿度など、その場にある様々な要素とのつながりを肌身に感じます。目には見えないけれど、そうした要素の循環、変化、相互作用の流れの中に、私たちも存在していることに気づくのです。銅版画家の武雄文子は、風景の中に含まれている光を、分光（スペクトル）の原理によって引き出し、元のイメージに重ね合わせることで、揺らぎのある新たな光景を生み出します。映像作家の筒井夏鈴は、映像・写真による表現のほか、現場の音や影、空気の流れなどを展示の要素として取り込み、鑑賞者に環境とのつながりを意識させる空間を構成します。

両作家は、2025年に開催した夏の思い出ワークショップ「A-LAB GO+」の講師を務め、それぞれ独自の技法や考え方にもとづいた作品制作の楽しさを教えてくれました。本展で紹介する作品群は、その時に学んだ創作の視点や可能性、さらには世界と私たちとの見えない結びつきへの興味をさらに広げてくれることでしょう。ぜひA-LABで少し不思議なアート体験をしてみてください。

2 概要

展示名：「CONNECT」

会 期：令和8年（2026年）8月22日（土）～9月23日（水・祝）

会 場：A-LAB（尼崎市西長洲町2-33-1）

時 間：午前10時～午後6時

休館日：火曜日（ただし、9月22日（火）は開館）

入場料：無料

主 催：尼崎市

3 関連イベント

作品解説会

出展作家による解説を聞きながら作品を鑑賞します。（申込不要）

日 時：9月5日（土）午後2時～3時30分

以 上



会期	2026年8月22日(土)～9月23日(水・祝)
開館時間	午前10時～午後6時
会場	A-LAB (えーらぼ) 尼崎市西長洲町 2-33-1
休館日	火曜日 (9月22日は開館)
入場料	無料
主催	尼崎市

開催要旨

自然の風景や環境をモチーフに、見えない力やその存在に目を向けて作品を制作しているアーティスト、武雄文子と筒井夏鈴による二人展「CONNECT」を開催します。

私たちは自然の中に身を置くと、光、風、温度、湿度など、その場にある様々な要素とのつながりを肌身に感じます。目には見えないけれど、そうした要素の循環、変化、相互作用の流れの中に、私たちも存在していることに気づくのです。銅版画家の武雄文子は、風景の中に含まれている光を、分光（スペクトル）の原理によって引き出し、元のイメージに重ね合わせることで、揺らぎのある新たな光景を生み出します。映像作家の筒井夏鈴は、映像・写真による表現のほか、現場の音や影、空気の流れなどを展示の要素として取り込み、鑑賞者に環境とのつながりを意識させる空間を構成します。

両作家は、2025 年に開催した夏の思い出ワークショップ「A-LAB GO+」の講師を務め、それぞれ独自の技法や考え方にもとづいた作品制作の楽しさを教えてくれました。本展で紹介する作品群は、その時に学んだ創作の視点や可能性、さらには世界と私たちとの見えない結びつきへの興味をさらに広げてくれることでしょう。ぜひ A-LAB で少し不思議なアート体験してみてください。

関連イベント

作品解説会

日時：9 月 5 日（土）午後 2 時～午後 3 時 30 分

出展作家による解説を聞きながら作品を鑑賞します。申込不要

広報用画像

このプレスリリースに掲載されている画像データ（※ 5 ～ 7 ページ参照）をプレス掲載用にご用意しております。下記の使用条件をご了承の上、A-LAB までお申し込みください。

使用条件：

- ・ 広報画像の掲載には各画像のキャプション、クレジットを表示ください。
- ・ トリミングや画像加工などはご遠慮ください。
- ・ アーカイブのため、後日掲載紙、URL などをお送りください。

以上、ご協力の程、何卒よろしくお願いいたします。

問い合わせ先

A-LAB（午前 10 時～午後 6 時 ＊火曜日休館）

担当：田野、北村

電話 / FAX 06-7163-7108 メール amalove.a.lab@gmail.com

尼崎市文化振興課（平日：午前 9 時～午後 5 時）

担当：山城、原田

電話 06-6489-6385 / FAX 06-6489-6702

出展作家

■武雄 文子（たけお あやこ）

1994 年 大阪府出身 京都在住

2019 年 京都市立芸術大学大学院 美術研究科 修了



銅版画家。「物質」と「光」の二重性のある表現手法で、ものや風景の内面や存在感を浮き彫りにすることを探求しています。

【主な個展】

2022 年「Decalcomania of vision」、ギャラリー恵風、京都

2022 年「Relic」、GAMOYON Gallery、大阪

2024 年「trace a lake」、GAMOYON Gallery、大阪

2025 年「Spectacular ponds」、ギャラリー恵風、京都

【主なグループ展】

2022 年「てんかいするメソッド」、成安造形大学 キャンパスが美術館、滋賀

2022 年「漁師と芸術家～琵琶湖を問う、琵琶湖を読む～」、大津市立和邇図書館、滋賀

2023 年「日韓藝術通信8」、インサ・アート・センター、韓国ソウル市

2023 年「第 41 回上野の森美術館大賞展」、上野の森美術館、東京

2024 年「日韓藝術通信9 カッカブコ モルダ、モルゴ カッカブダ | 近くて遠い、遠くて近い」、The Terminal KYOTO、京都

2025 年「Kyoto Art for Tomorrow 2025 一京都府新鋭選抜展一」、京都文化博物館、京都

2025 年「漁師と芸術家 - なみとしまのあわいで -」、滋賀県立美術館、滋賀

2025 年「残像をなぞる 一武雄文子・会見貫太郎2人展 版画・日本画一」、コミュニティプラザ 百花堂、鳥取

2025 年「第 27 回雪梁舎フィレンツェ賞展」、雪梁舎美術館、新潟・東京都美術館、東京

2026 年「第 44 回上野の森美術館大賞展」、上野の森美術館、東京

出展作家

■筒井 夏鈴（つつい かりん）

2001 年 尼崎市出身

2026 年 京都精華大学大学院 芸術研究科映像領域 入学



映像作家。自然や日本の文化をモチーフに、鑑賞者が自然と向き合ったときの感覚を呼び起こす「自然の再現」をテーマに作品を制作しています。

【主な展覧会】

2024 年「node」、京都精華大学ギャラリー kara-S、京都

2025 年「cycle」、京都精華大学ギャラリー Terra-S、京都

参考図版



1



2



3



4



5



6

参考図版



7



8



9



10



11



12-1

参考図版



12-2



13

< 画像情報 >

作者名 | タイトル | 制作年

1. 武雄文子 | trace-Eri- | 2024
2. 武雄文子 | lotus Feb. | 2024
3. 武雄文子 | Spectacular pond | 2024
4. 武雄文子 | Spectacular carp | 2024
5. 武雄文子 | 汽水域 #01 | 2025
6. 武雄文子 | 汽水域 #04 | 2025
7. 武雄文子 | 汽水域 #6-18 | 2025

作者名 | タイトル | 制作年

8. 筒井夏鈴 | 行雲流水 | 2022
9. 筒井夏鈴 | 解放 vol.1-vol.3 | 2024
10. 筒井夏鈴 | 幻燈 — cube — | 2024
11. 筒井夏鈴 | ISI | 2025
- 12-1. 筒井夏鈴 | Patina | 2025
- 12-2. 筒井夏鈴 | Patina | 2025
13. 筒井夏鈴 | 此处 — Asyl — | 2025

次回展

A-LAB Exhibition Vol.53

新鋭アーティスト発信プロジェクト「A-LAB Artist Gate'26」

2026 年 10 月 24 日(土) ~ 12 月 6 日(日)

本プロジェクトは、今後活躍が期待される若手アーティストによるグループ展として毎年開催しているもので、11 回目となる今回は令和 8 (2026) 年春に大学・専門学校を卒業、または大学院を修了した方が出展します。

平成 28 (2016) 年に初開催して以来、これまで 66 人のアーティストを紹介してきました。これまで以上に本展が若手アーティストたちの本格的な作家活動の一步として、今後大きく羽ばたいていくことを期待します。

2026年8月22日(土) — 9月23日(水・祝)

午前10時 — 午後6時

火曜休館 ただし9月22日(火)は開館

入場無料

武雄文子

筒井夏鈴

二人展

A
LAB

上 | 筒井夏鈴 | 解放 vol.1—vol.3 | 2024年 下 | 武雄文子 | Spectacular pond | 〈部分〉2024年

武雄文子
筒井夏鈴
二人展

自然の風景や環境をモチーフに、見えない力やその存在に目を向けて作品を制作しているアーティスト、武雄文子と筒井夏鈴による二人展「CONNECT」を開催します。

私たちは自然の中に身を置くと、光、風、温度、湿度など、その場にある様々な要素とのつながりを肌身に感じます。目には見えないけれど、そうした要素の循環、変化、相互作用の流れの中に、私たちが存在していることに気づくのです。銅版画家の武雄文子は、風景の中に含まれている光を、分光（スペクトル）の原理によって引き出し、元のイメージに重ね合わせることで、揺らぎのある新たな光景を生み出します。映像作家の筒井夏鈴は、映像・写真による表現のほか、現場の音や影、空気の流れなどを展示の要素として取り込み、鑑賞者に環境とのつながりを意識させる空間を構成します。

両作家は、2025年に開催した夏の思い出ワークショップ「A-LAB GO+」



武雄文子 | Spectacular pond | 2024年



筒井夏鈴 | Patina | 2025年



筒井夏鈴 | 此処-Assyl- | 2025年

の講師を務め、それぞれ独自の技法や考え方にもとづいた作品制作の楽しさを教えてくださいました。本展で紹介する作品群は、その時に学んだ創作の視点や可能性、さらには世界と私たちとの見えない結びつきへの興味をさらに広げてくれることでしょう。ぜひA-LABで少し不思議なアート体験を試してみてください。

イベント

作品解説会

出展作家による解説を聞きながら作品を鑑賞します。

9月5日（土）14:00—15:30

出展作家



武雄文子 Takao Ayako

銅版画家。「物質」と「光」の二重性のある表現手法で、ものや風景の内面や存在感を浮き彫りにすることを探求しています。

1994年大阪府生まれ。2019年京都市立芸術大学大学院美術研究科修了。近年の主な展覧会に、個展「Spectacular ponds」（ギャラリー恵風／京都、2025）、「第27回雪梁舎フィレンツェ賞展」（雪梁舎美術館／新潟・東京都美術館／東京、2025）等。



筒井夏鈴 Tsutsui Karin

映像作家。自然や日本の文化をモチーフに、鑑賞者が自然と向き合ったときの感覚を呼び起こす「自然の再現」をテーマに作品を制作しています。

2001年尼崎市生まれ。2026年京都精華大学大学院芸術研究科映像領域入学。主な展覧会に、グループ展「cycle」（京都精華大学ギャラリー Terra-s／京都、2025）、二人展「node」（kara-S／京都、2024）。



武雄文子 | 汽水城#01 | 2025年

住所

尼崎市西長洲町 2-33-1

※会場に一般用駐車場はありません

問い合わせ先

A-LAB

TEL / FAX 06-7163-7108

尼崎市文化振興課

TEL 06-6489-6385

FAX 06-6489-6702



ama-a-lab.com

Facebook @amalove.a.lab

Instagram @alab_amalove

